



「立場が上になるほどコンセプチュアルスキルを磨け！！」

社会人に求められているスキルは4つある。

- ①仕事を遂行していく能力であるテクニカルスキル（技術力）
- ②変革・革新していく能力であるコンセプチュアルスキル（企画提案力と統率力）
- ③人間力の要素であるパーソナルスキル（人間性）
- ④対人折衝能力であるヒューマンスキル（人間関係力）

これら4つのスキルはバランス良く磨かれていくことが大切であるが、求められるスキルは立場や役職によっても変化していく。

新入社員から中堅までは仕事の実務が中心になるので、テクニカルスキルをひたすら高めていかなければいけない。これは専門分野や技術上のスキルであるからである。この専門分野や技術上のスキルが磨かれていかないと仕事の遂行能力は上がっていかない。

パーソナルスキルやヒューマンスキルの面では、人間関係を構築して社内外の信頼を高めていくことが重要になってくる。

しかし、一流の技術者が管理職になったら成果を上げられなくなるケースがよくある。また、営業成績トップの人間が管理職になったら途端に売上が落ちてしまうケースもある。一体どうしてだろうか？

役職が高くなるとテクニカルスキルの役割期待が低くなり、コンセプチュアルスキルの役割期待が高くなっていく。

このコンセプチュアルスキルというのはコンセプト（概念構成）を明確にして、組織を統率しリードしていくスキルでもある。これには戦略立案の能力やマーケティング力、マネジメント力なども含まれる。

しかし・・・。役職が高くなってもそのような現実に対応出来ていないケースが多い。

営業成績トップの人間も部下を持つ管理職になったら、部下に営業成績を上げさせ、部門としてのパフォーマンスを最大化させていくことが役割期待になっていく。

部門を統率し、部門としての営業成績を最大化していこうとするならば、今述べたようなコンセプチュアルスキルの発揮が必要になっていく。

パーソナルスキルやヒューマンスキルの面でも、交渉力、説得力、コミュニケーション力や指導力などのスキルの重要性が高くなっていく。それが無いと部下や周囲の組織を巻き込んで物事を進めていくことは出来ないからである。

立場や役職が上になるほどコンセプチュアルスキルの比重を増やし、磨いていく必要がある。

このコンセプチュアルスキルが不足していると、立場や役職が上になっても「無能」になってしまう！！

